

ケッティーのFX講座

第5回

BOX圏からのエントリーパターン

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

BOX圏とは

BOX圏とは

BOX圏=レンジ相場

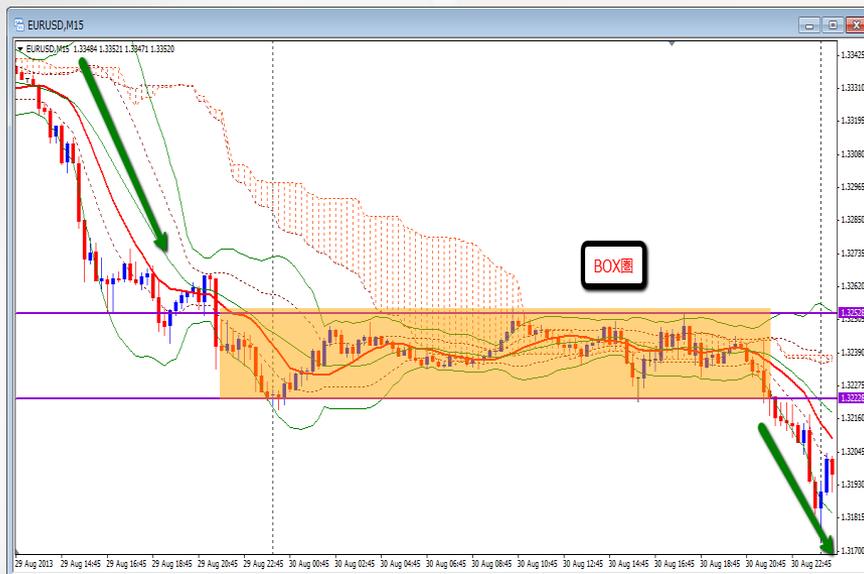
今回の講座ではBOX圏と言うのは、基本的に値幅の小さいレンジ相場と定義づけます。

【特徴】

- ・ 値幅は100pips以内。但し、今回の手法で狙う場面は50pips以内が多い。
- ・ **トレンド発生前に、そのトレンドが出る事を予測してエントリーをするので、SLはかなり狭く、そして利幅は損切値に対して3倍以上狙える手法。**

【種類】

- ①直近と同じ方向のトレンドを起こすためのエネルギーを貯めているBOX圏
- ②トレンド転換を起こすためのエネルギーを貯めているBOX圏



①直近と同じ方向のトレンドを起こすためのエネルギーを貯めている BOX圏でのエントリーポイント



エントリーポイント

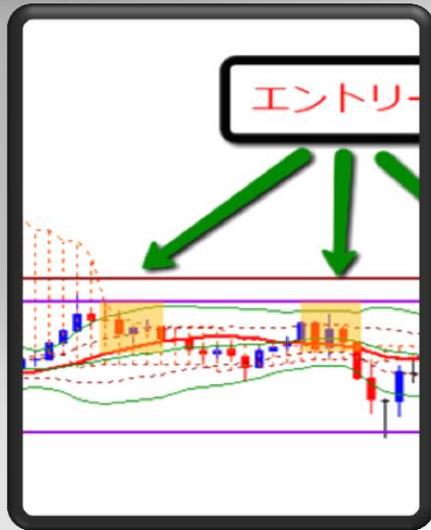
直近のトレンドが・・・

- ① アップトレンドの場合 → BOX圏 (レンジ) 下限ラインで買いエントリー
- ② ダウントレンドの場合 → BOX圏 (レンジ) 上限ラインで売りエントリー

エントリー時に気を付ける事

- ☆ 直近のトレンドを再度続く事が大前提の場面で仕掛けていく事を意識する。
- ☆ 上限、下限ラインにしっかりと引き付けてエントリーすること！
- ☆ レンジ帯でエントリーする場面となるので、仕掛けたら待つ姿勢が大切。
- ☆ 仕掛けたラインと反対側のラインを突破できなかった場合は一旦決済して逃げる事もアリ。

①のBOX圏でのエントリータイミング



①のBOX圏でのエントリータイミング



②トレンド転換を起こすためのエネルギーを貯めている BOX圏でのエントリーポイント



エントリーポイント

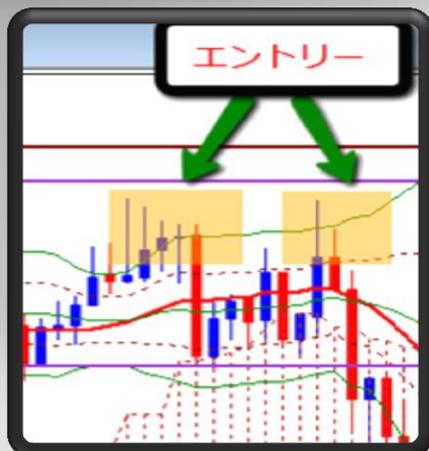
直近のトレンドが・・・

- ① アップトレンドの場合 → BOX圏 (レンジ) 上限ラインで売りエントリー
- ② ダウントレンドの場合 → BOX圏 (レンジ) 下限ラインで買いエントリー

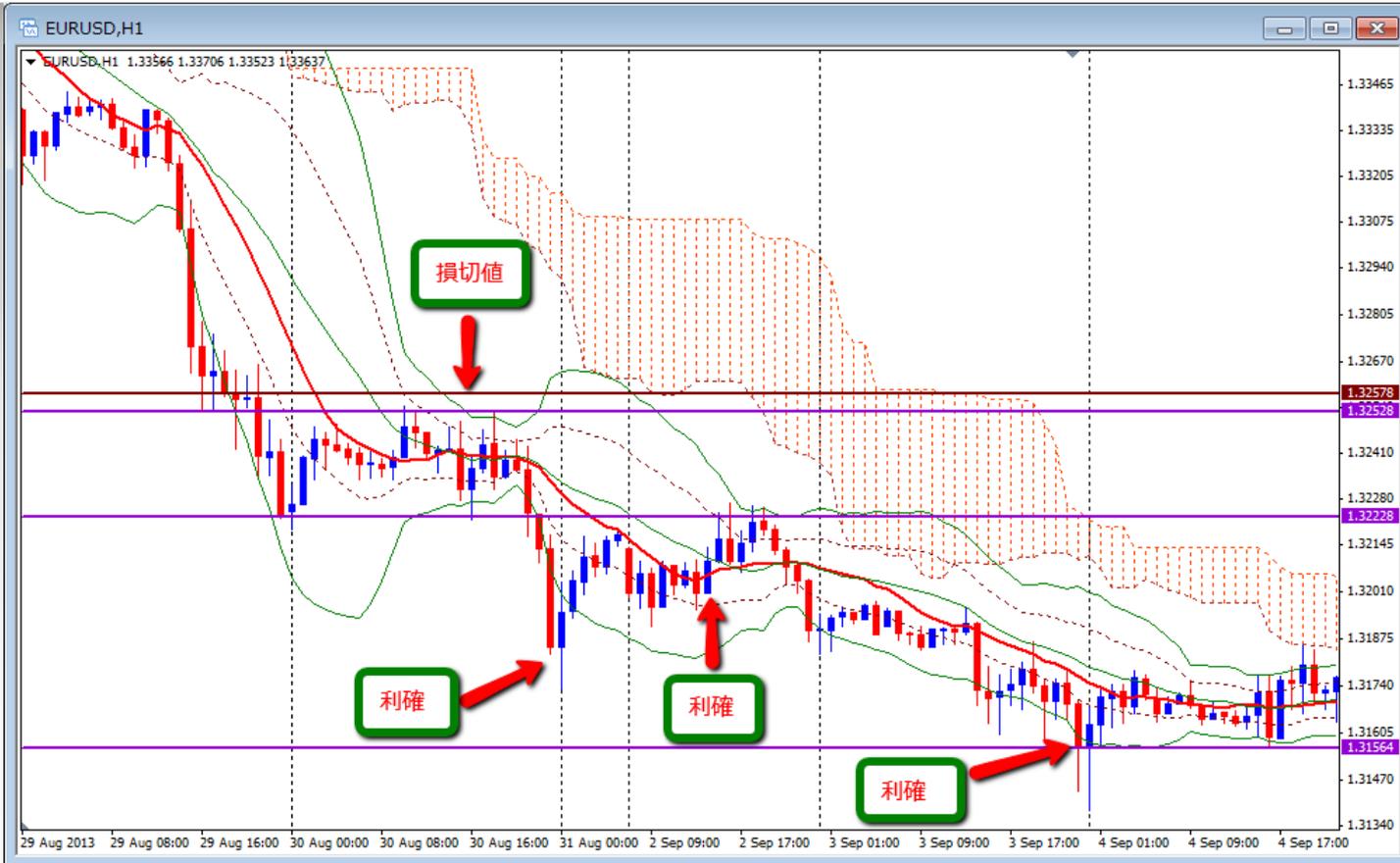
エントリー時に気を付ける事

- ☆ 直近のトレンドと反対方向に行くことが大前提なので、長期足で転換を示唆する根拠がある事が大切。
- ☆ 上限、下限ラインにしっかりと引き付けてエントリーすること！
- ☆ レンジ帯でエントリーする場面となるので、仕掛けたら待つ姿勢が大切。
- ☆ 仕掛けたラインと反対側のラインを突破できなかった場合は一旦決済して逃げる事もアリ。

②のBOX圏でのエントリータイミング



BOX圏でのエントリーの損切り値と利確の置き方



損切値：BOX圏の上下のラインより少し離れた所。

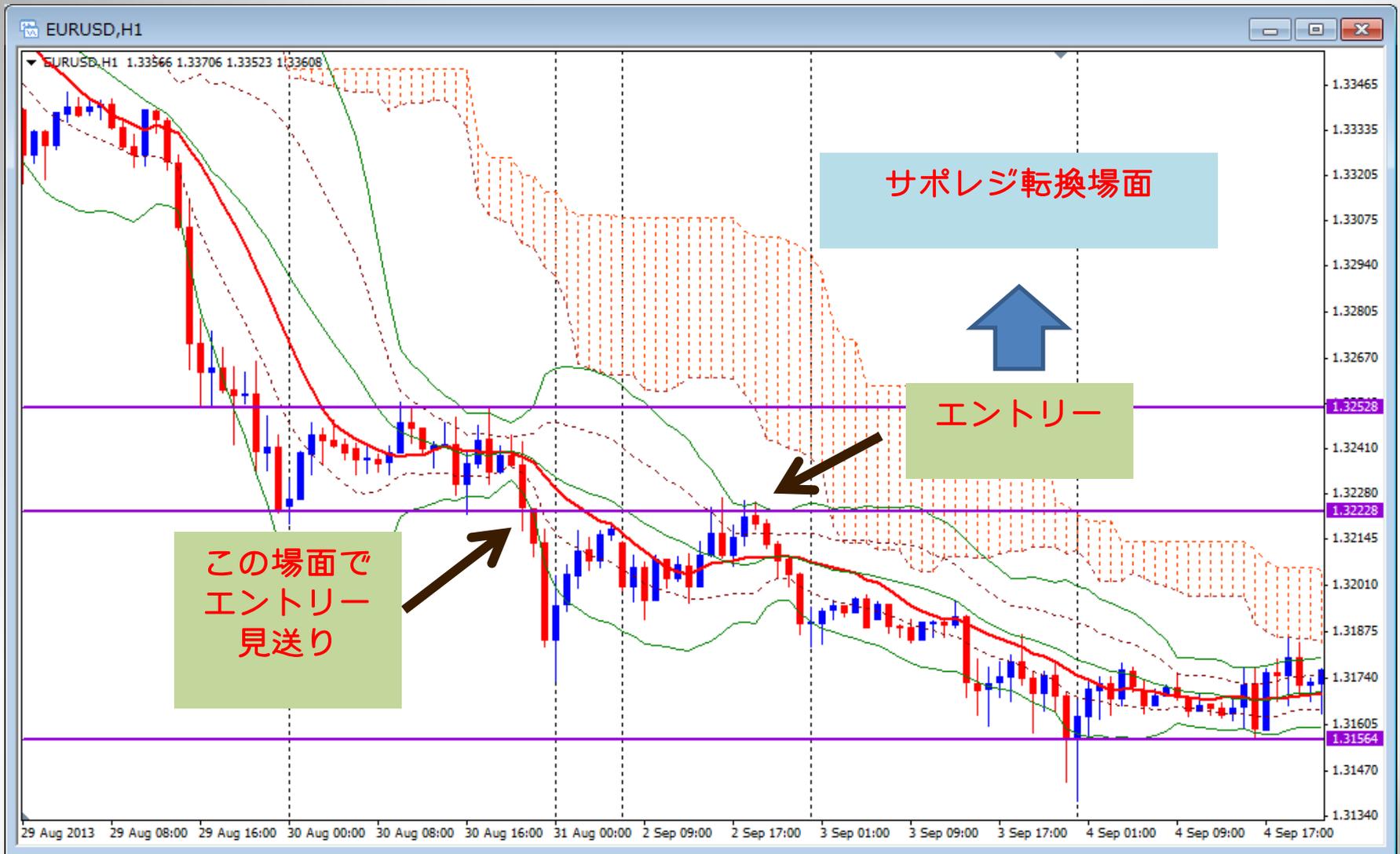
利確：トレンド（順張り）での利確タイミングと同じ

- ・長期足でのサポレジ
- ・BB ± 2σからはみ出た所か少し内側に入った所。
- ・MA, BBミドルラインをトレンドの流れと逆に実体で抜けた所。

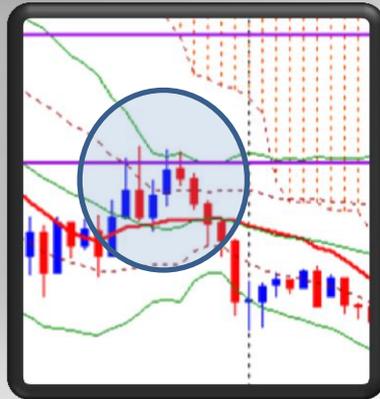
なぜ、レンジブレイクアウトの瞬間には乗らない方がいいのか？



BOX圏の反対側から仕掛ける事が出来なかった場合



サポレジ・レジサポ転換のエントリータイミングと損切値の置き方



エントリータイミング

サポレジ・レジサポ転換となるライン付近でエントリー。

損切値の置き方

基準となる水平線から少し離れた所。

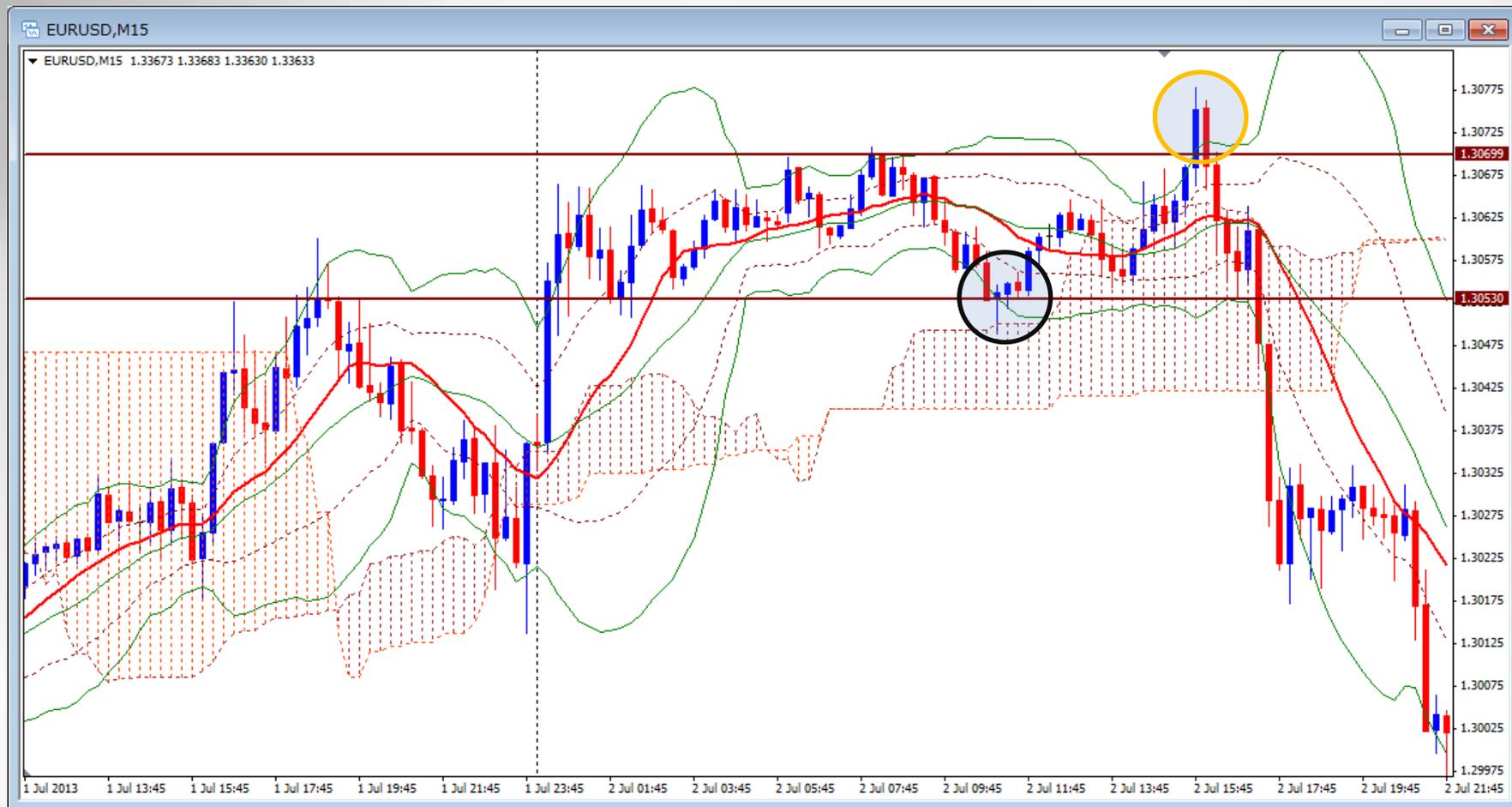
エントリー時に気を付ける事

☆基準となるラインにしっかりと引き付けてエントリーすること！

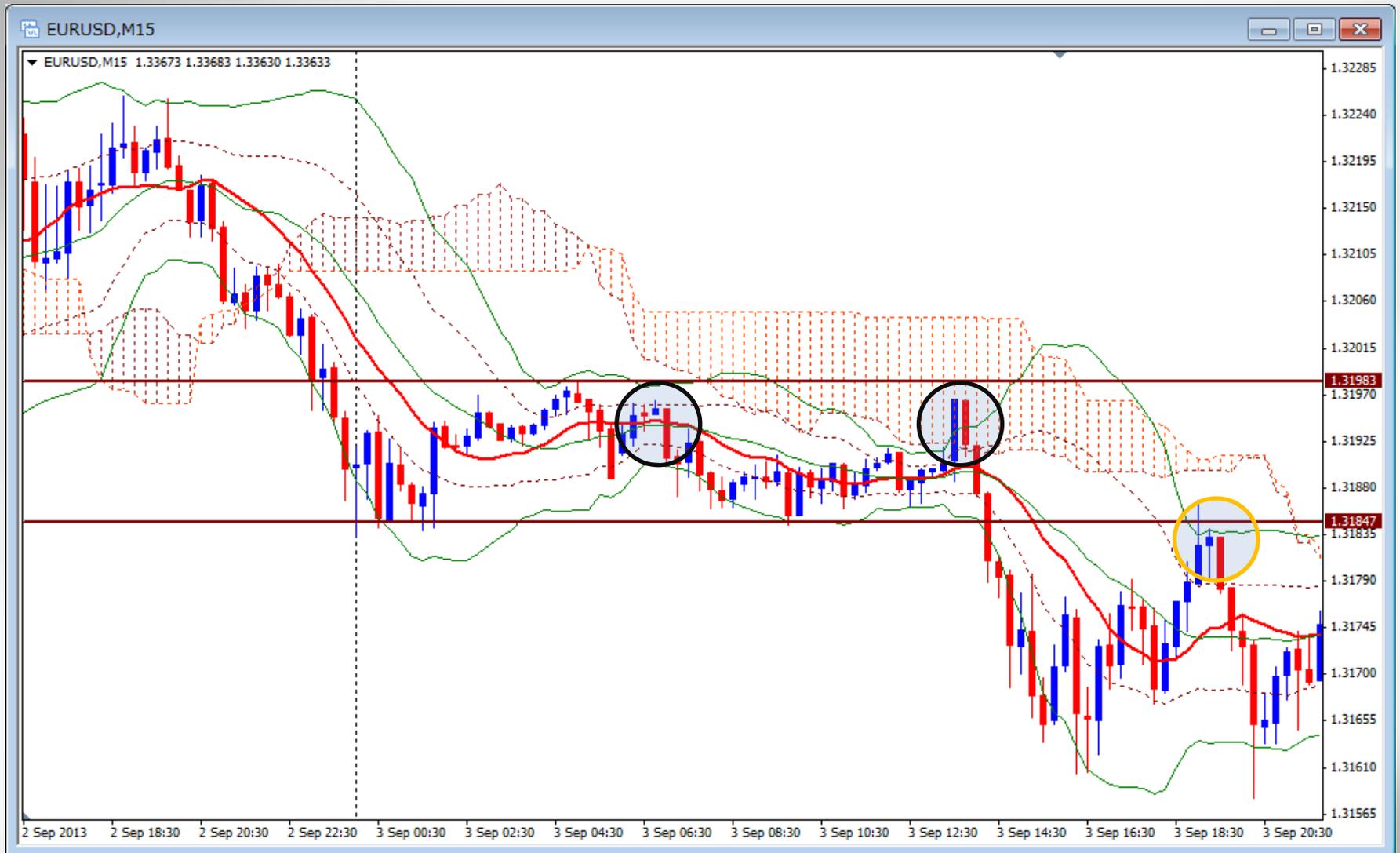
☆ヒゲでラインを抜けてきても様子を見る。（慌てて損切りしない）

☆建値に戻ってきそうな動きをしたら薄利決済をして再エントリーを考えてもよい。

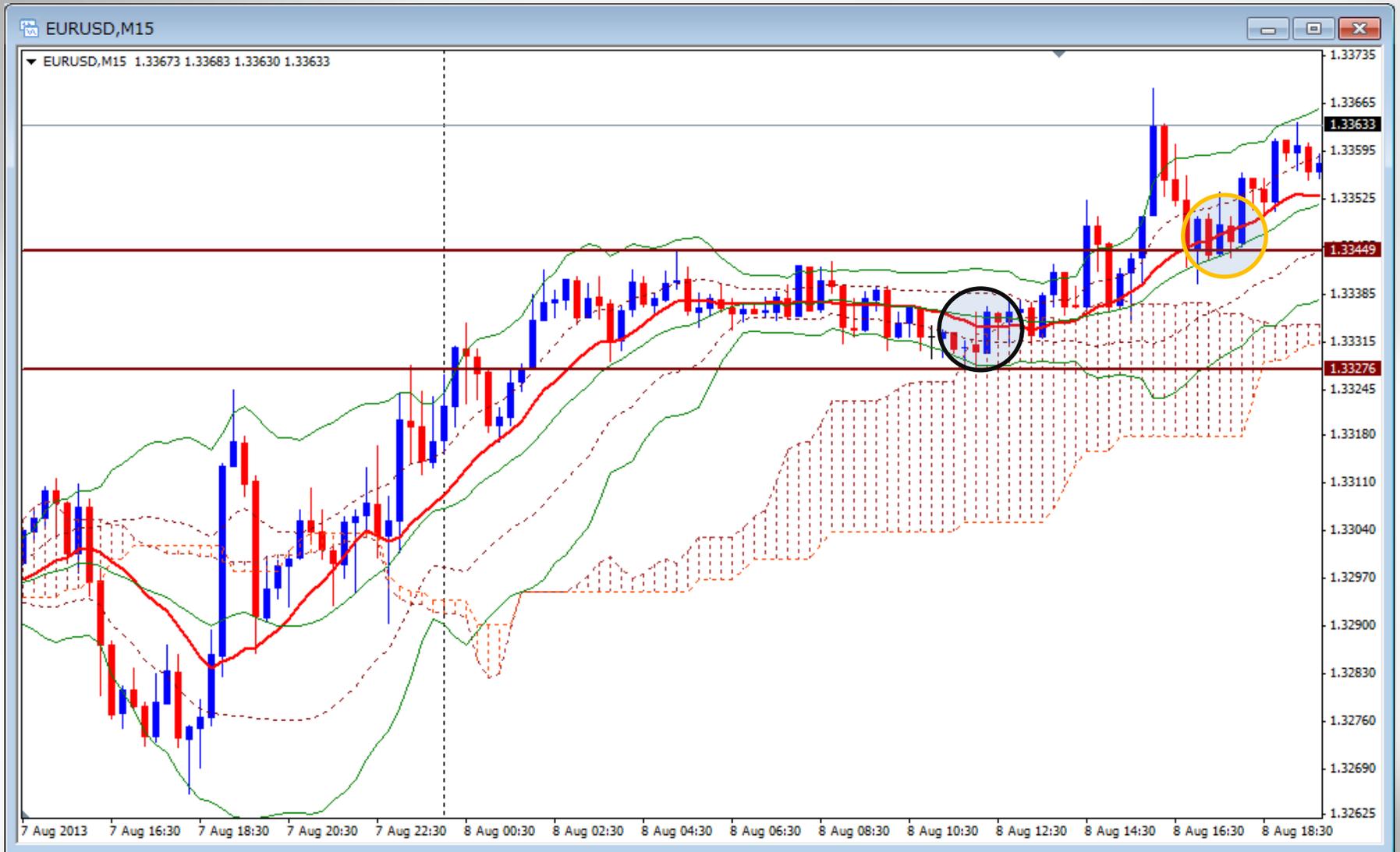
BOX圏でのエントリーで損切り、ダマシに合う事例①



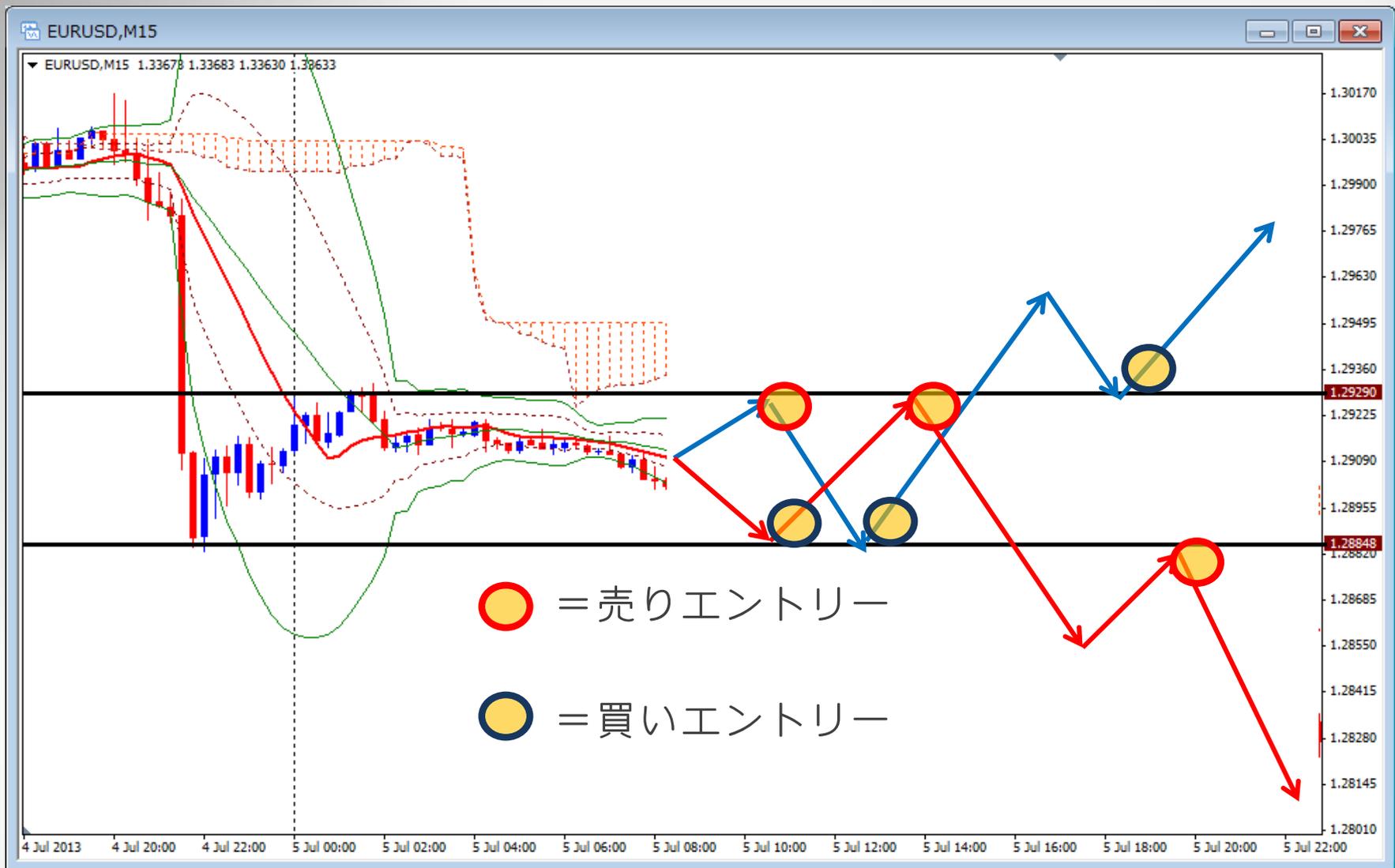
BOX圏でのエントリー事例①



BOX圏でのエントリー事例②



BOX圏からのエントリーシナリオを複数立ててみよう！



BOX圏でのエントリー手法が有効に働く相場環境と注意点

- ①直近のトレンドを認識し、BOX圏を形成するための上限・下限ラインを明確に引くことのできる相場環境であること。
- ②トレンド継続かトレンド転換かを判断するには、エントリーする時間足よりも上位の時間足特に4時間足や日足を参考にして判断することが大切。
【判断の一例】
 - ・1時間足の直近はアップトレンドでBOX圏を形成しているが、日足を見ると右肩下がりのBBミドルラインがローソク足より上にある場合
→トレンド転換の可能性
 - ・1時間足が数日続いたレンジ相場からブレイクアウト→ダウントrend発生→BOX圏形成
日足もダウントrendの形状でBB-2σまでローソク足はまだ距離がある。
→トレンド継続の可能性
- ③BOX圏の上限、下限ラインにしっかりと引き付けてエントリーをすること。
→損切値を極小で設定できる秘訣となる。
- ④BOX圏からのブレイクアウト第1波に乗ろうとするとダマシ合う確率はとても高くなる。
→BOX圏の反対側から仕掛ける目と意識を持つ。
- ⑤想定と反した時には潔く損切りすること!